

巻 頭 言

学会のホームページについて

細田眞司 日本精神神経学会理事

Shinji Hosoda

当学会のホームページ（以下HP）は、1999年から広報委員会により、情報発信、会員への情報提供のために開設された。当時はインターネットの利用が徐々に普及しはじめた頃であり、現在のように必要な情報をインターネット検索するということはまだ珍しかった。それから10年の間に少しずつHPの内容が増えてきたが、体裁も内容も一般の水準からみると物足りなくなってきた。そこで、このたび広報委員会ではHPの刷新に積極的に取り組むことになり、2010年3月にHPの体裁を大きく変えた。ご覧いただければ「世の中のHP並み」の視認性を確保されたことを実感していただけるだろう。iPhoneなどのポータブルな機器でも閲覧可能とした。

HPは一般の方が閲覧できる一般ページと会員のみが閲覧できる会員ページとに分かれている。会員ページにはID、パスワードを入力しログインをする。ID、パスワードは2008年110巻5号の巻頭色紙にある。専門医の方は専門医のバーコード番号を入力してログインすると現在の取得ポイントが表示される。

精神神経学雑誌は各号の目次から見たい論文、記事をクリックすると、当該論文・記事がPDFファイルで閲覧、ダウンロードをすることができる。これまでは各号の全体のPDFだったので、内容をみるのに手間がかかっていたが、これを大幅に改善した。また、各号を一括閲覧・ダウンロードすることも従来どおり可能である。2008年以降の雑誌の症例報告などを除き、ほぼ全ての内容をHPでみることができるようになっているので、極めて有用なサイトとなっている。

学会の英文雑誌であるPsychiatry and Clinical Neurosciences (PCN誌)は、全ての論文を会員ページからWiley Interscienceにアクセスし無料で閲覧・ダウンロードすることができる。「PCN誌閲覧」をクリックした後、All Issues (1933-2010)の欄から1933年第1巻にはじまる全ての過去論文を読める。PCN誌へ投稿される場合には、「PCN誌への投稿」からオンライン投稿を行なっていただきたい。

総会のシンポジウムや発表が膨大になり、紙雑誌だけでは対応困難になってきたことを機に、精神神経学雑誌編集委員会の方針に従い、2010年総会から、紙雑誌にはシンポジウムの中から特集として毎号いくつかの論文を総説形式に整え掲載し、そのほかのシンポジウムは

HP上で電子版として提供することになった。電子版も医学中央雑誌やMedlineで検索できるなど紙雑誌と同等の質を担保され、電子版の目次を紙雑誌に掲載する予定である。ちなみに、一般演題はすでに2008年から「日本精神神経学会学術総会特別号」として電子版として掲載している。

また、イベントカレンダーを作成し、前年に専門医ポイント取得ができた学術集会、研修会などの開催日、開催地がわかるようにした。取得ポイントが気になる専門医の先生はチェックされると便利であろう。

「理事会、委員会」欄には議事録、資料を掲載している。活発な委員会活動の過程を一般の会員が知ることができる。学会の透明性を確保するとともに、より多くの人が学会活動に関心をもち関与できるようにすることが目的である。また、精神科医療および精神保健・福祉の積極的推進の訴え（略称：七者懇松沢宣言）、平成22年度診療報酬改定「認知療法・認知行動療法」への要望書（精神科七者懇談会）など、学会が関与した見解・声明も迅速に伝えていきたい。

専門医制度についても特別な欄を設けている。種々の書類はPDFで入手できるようになっている。また、研修施設・指導医も検索可能となっている。試験や研修の日程もいち早く掲載するのでときどきチェックをしていただきたい。

学会事務所に問い合わせる前に、学会や専門医などの疑問がある場合には「よくある質問」をご覧いただき、学会事務局の仕事の円滑化にぜひご協力いただきたい。

英語ページも作成しており、Medlineで学会誌を検索する欄など電子媒体の特質を活かしたページ作りを試みている。これから学会の活動や見解などを英語で発信していきたい。

今後の課題として、学会員ひとりひとりのID、パスワードをもつセキュリティのより高いHPとし、会員個人の情報などがHPから登録、変更できるようにし、メールで学会情報の要点を配信できるようにすることを検討している。

精神医学・医療における知の基盤を堅固なものとし、専門家集団の共通の知的水準の上昇と学術研究、臨床活動の発展の一助になればと願い、HPの有効利用が進むようさらに取り組みを深化させていきたいと考えている。学会員の先生方の一層のご協力が頂ければ幸いである。